

1999年(平成11年)阿嘉島臨海研究所の1年間の動き

List of research activities by AMSL visitors and the staff members in 1999

主な利用者と研究課題等

- 2月 「元素を高濃度に蓄積する海洋生物の研究」石井紀明ほか(科学技術庁放射線医学総合研究所)
「沖縄における紅斑熱群リケッチアの疫学」森田千春、佐藤 弘(酪農学園大学)(10月にも実施)
「サンゴ礁生態研究に必要な潜水調査手法の実態調査」坂本信義ほか(海洋科学技術センター普及広報課)
「サンゴの白化に関する情報交換」山里 清ほか((財)亜熱帯総合研究所)
「座間味村産業祭り」で阿嘉島臨海研究所の活動内容を展示紹介
- 3月 「阿嘉島周辺海域の現生有孔虫についての研究」八田明夫(鹿児島大学)
- 4月 「海産無脊椎動物の共生藻に関する分子生物学的解析」丸山 正 Baillie, Carmen Baillie (海洋バイオテクノロジー研究所)
(7, 10月にも実施)
「沖縄サンゴ礁環境に関する共同研究プロジェクト(CREO)」の開始
- 5月 「ミドリイシ属サンゴの異種間交配実験」服田昌之(国立遺伝学研究所)、深見裕伸ほか(東京水産大学):阿嘉島臨海研究所との共同研究(~6月)
「ミドリイシ属サンゴの放出卵数」北田英之(東京水産大学)(~6月)
「阿嘉島周辺に生息するミドリイシ属を用いた配偶子の受精率」小日向寿夫(東京水産大学)(~6月、7~8月にも実施)
「サンゴの移植技術に関する研究」三橋奈弥(東京水産大学):阿嘉島臨海研究所との共同研究
(~6月、8~9月、11月にも実施)
「座間味中学校の地域学習」としてサンゴ教室を実施
- 6月 「無節サンゴモの単離培養」一木繁夫(北海道大学)
赤土汚染調査定点のサンゴ白化比較調査」大見謝辰夫ほか(沖縄県衛生環境研究所)
- 7月 「元素および安定同位体を用いた環境変化の指標としての大型有孔虫に関する研究」Pratul Kumar Saraswati(インド科学技術
庁地球科学部、短期 STA フェローシップ招聘者)(~8月)
「オニヒトデ追跡予備調査」清野総子(東京大学)、土屋康文(総合ビデオサウンド)
「サンゴ礁のモニタリング調査」Robert van Woesik(琉球大学)ほか
「サンゴ礁調査」Yossi Loya(テルアビブ大学)、John Stimson(ハワイ大学)ほか
「夏休み親子キャンプツアー」近畿日本ツーリスト、サンゴ教室を実施(~8月)
- 8月 「クラゲ類の生物学的研究」久保田信(京都大学瀬戸臨海実験所)、永井宏史(サントリー生物有機化学研究所)、大城直雅ほか
(沖縄県衛生環境研究所)
「造礁サンゴ幼生の着生機構に関する研究」林原 毅(水産庁西海区水産研究所石垣支所)
- 9月 「化石クニダリア国際会議の巡検」中森 亨(東北大学)ほか
「リーフ・チェック 99 座間味村」に下池和幸(阿嘉島臨海研究所)がチーム・サイエンティストとして参加
- 10月 「海洋生物の生物活性物質」中村英士ほか(名古屋大学)
- 11月 日本サンゴ礁学会第2回大会(於沖縄)にて発表。「神経ペプチドによる造礁サンゴ幼生の変態誘因」岩尾研二(阿嘉島臨海
研究所)、「阿嘉島マエノハマにおける白化サンゴの回復および死亡」谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)
公開国際シンポジウム「サンゴの白化とサンゴ礁の未来」に岩尾研二(阿嘉島臨海研究所)がパネリストとして出席
「造礁サンゴの無性生殖に関する研究」池田 穰((株)間組)
「阿嘉島のサンゴ礁におけるカイアシ類の研究」大森 信、車 淑禎(東京水産大学)
「シグナル伝達阻害物質の探索」梅澤一夫(慶応義塾大学)
「赤土汚染調査海域のサンゴ礁定点調査」上原睦男ほか(株)沖縄環境保全研究所)
「オニヒトデ・サンゴモ食稚稚の加入モニタリング」横地洋之(東海大学海洋研究所)
- 12月 「コマルククメイシの集団遺伝学的研究」Mauricio Rodriguez-Lanetty, William Loh(シドニー大学)
「造礁サンゴ白化現象の状況調査」野中正法(沖縄記念公園水族館)

その他の主な来訪者

長島昭(慶應義塾大学常任理事)、会田法行ほか(朝日新聞社福岡支局)、伊礼 健(沖縄タイムス)、平野智己(科学技術庁)、
Rudi Sticklar(ウィスコンシン大学)、Daniel P. Lindstrom(ゴードン大学)、鳥井啓一ほか(日本財団)、アセアン諸国研修生
(JICA 沖縄国際センター海洋保全コース)、渋谷拓郎(西海区水産研究所石垣支所)、種子田雄(西海区水産研究所)、三浦正
治ほか((財)海洋生物環境研究所)、栗田 亘(朝日新聞社)、志田喜代江(静岡県蒲原町)、都立九段高校の修学旅行生、中野
工業高校の修学旅行生、東京水産大学練習船神鷹丸の実習生

AMSL 刊行物

「みどりいし」No.10、「アムスルだより」Nos.35~40

共著論文

Hatta, M., H. Fukami, W. Wang, M. Omori, K. Shimoike, T. Hayashibara, Y. Ina and T. Sugiyama 1999. Reproductive and genetic
evidence for a reticulate evolutionary history of mass-spawning corals. *Mol. Biol. Evol.* 16 (11): 1607-1613.
谷口洋基・岩尾研二・大森 信 1999. 慶良間列島阿嘉島周辺の造礁サンゴの白化 . 1998年9月の調査結果. *Galaxea, JCRS*,
1: 59-64.